

## 地域おこし協力隊だより

「初めての雪かき・雪道運転、そして、初めての切干大根作り」道の駅香りの里たきのうえ内 観光協会勤務 佐藤 隼輔

滝上町の皆さん、こんにちは。今月号を担当いたします佐藤隼輔（さとうしゅんすけ）です。

早いもので、滝上に移住して半年が経ちました。滝上で初めての冬を迎え、慣れない雪かきや雪道運転をぎこちなく行っています。私がいままで住んでいた静岡県磐田市は太平洋に面しており、雪が降る日は1年に1回あるかないかといった程度で、雪が積もることはありません。

11月下旬の朝、滝上の積雪を初めて目の当たりにした際は、何をどうしたら良いだろうか、無事に職場に行けるだろうかと戸惑いました。近所の皆さんが始めていた雪かきを見習って行うことで、敷地内から道路へ車が出られるようになり、雪道を恐る恐る運転して職場へ向かったあの日は、初めてづくしの忘れられない1日になりました。

この原稿を書いている12月の始めよりも、年末年始から2月にかけて雪の量は増えることでしょう。町内はもちろん、紋別市などの近隣市町村へ出かける際の車の運転には特に気を付けたいと思います。11月には渚滑川の会の皆さんと一緒に、道の駅で販売する切干大根を作りました。

収穫の際に傷が付いたなどの理由により、そのままでは出荷・販売ができない滝上産の大根を仕入れ、切干大根に加工することにより、普段は都市地域に出荷されている滝上産の大根を身近に味わうことができるとともに、ほんのわずかではあるものの出荷ができないために廃棄する大根の量を減らすことに繋がります。

切干大根作りにあたっては10月下旬に大根を仕入れ、11月上旬から加工および天日干しを始めました。そこから2週間ほど太陽と寒風に当てて水分を抜きます。大根を十分に乾燥させた上で袋詰めおよびラベル貼りをを行い、道の駅での販売が始まりました。

▼問い合わせ先  
まちづくり推進課  
☎29-2111（内271）



工、袋詰め、販売までの一連の流れに携わることで、自然を相手にした作業の難しさや商品を完成させることの大変さを経験することができました。その一方で、作業を進めるにつれて切干大根への愛着が徐々に増すようになり、よりおいしくなってほしい、より多くの人に味わってほしいという気持ちが強くなりました。道の駅に並んでいる切干大根の売上が気になる毎日です。

商品の製造や販売に携わったこの経験や気持ちを大切に、道の駅での今後の活動に取り組みたいと思います。



【高知県越知町】  
蚕糸資料館前の  
モニュメントが  
新しくなりました！



新しくなった蚕糸資料館前のモニュメント

越知町にある蚕糸資料館前のモニュメントが装いを新たに生まれ変わりました。越知町イメージキャラクターである「よこじろ」や、越知町の花である「コスモス」、「奇跡の清流 仁淀川」、「アウトドアな」

「まち」など、越知町を表現したものとなっています。色合いも仁淀ブルーをイメージした色を使用し、より越知町を感じられるものに仕上がりました。お越しの際はぜひご覧になってみてください。